

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

### ②施設・事業所情報

名称：	みらいく高田園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 細野 真希	定員（利用人数）：	60（57）名
所在地：	223-0066 神奈川県横浜市港北区高田西4-26-7		
TEL：	045-620-4511	ホームページ：	<a href="https://www.miraiku-h.co.jp/nursery/takata/">https://www.miraiku-h.co.jp/nursery/takata/</a>
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2017年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	株式会社みらいく		
職員数	常勤職員： 1名	非常勤職員：	14名
専門職員	保育士 17名	栄養士	0名
	看護師 0名	調理員	0名
	用務員 0名		
施設・設備の概要	居室数： 保育室6室、調理室、事務室、相談室、給食前室、シャワー室、園庭、裏庭	設備等：	ダムウエーター

### ③理念・基本方針

企業理念	豊かな暮らしを育む
みらいくの理念	みらいを共に育み、いきいきと輝く
保育理念	子どもが豊かに生きる力を育む
保育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係するすべての人と共に健やかな心と体を育みます すくすく育つ元気で明るい子</li> <li>・ 主体性を育みます 自分で考え行動できる子ども</li> <li>・ 互いに思いやる気持ちを育みます 個性を尊重し相手も自分も思いやる子ども</li> <li>・ 命を大切にする心を育みます 人や自然とのつながりを学び命を大切にする子ども</li> <li>・ コミュニケーション力を育みます 伝え合い共感できる子ども</li> <li>・ 感性や表現力を育みます 自分らしく表現できる子ども</li> </ul>

④施設・事業所の特徴的な取組

「みらいく高田園」は、横浜市営地下鉄グリーンライン「高田駅」より、徒歩で10分ほどの閑静な住宅街の中にあり、2017年4月1日に開園しました。園には大きな園庭があり、ミニスポーツ大会や水遊び、木育、園庭内の畑では毎年6月に「じゃがいも掘り」も体験しています。

園周辺には、大きな木々に囲まれた高田西公園、穏やかに流れる早淵川などがあり、自然豊かな環境に恵まれています。天気の良い日には、毎日のように元気に散歩に出かけて、四季折々の自然を感じながら、身体を思い切り動かして遊んでいます。

年間の食育計画を作成し、年齢に応じた食事マナーの指導のほか、行事食の由来や旬の野菜について栄養士から話を聞くなど、さまざまな食育活動を行っています。

子どもたちが、一人ひとりの個性を發揮し、「自分で決めて自分で進む」、そんな力が自然に身につくよう、職員は、子どもの気持ちに寄り添い、見守り、必要に応じた援助を心がけ、保育理念や保育方針の実現を目ざして保育の実践につなげています。

家庭的な雰囲気の中で、子どもたちが安心して、安全に過ごせるよう、環境整備を行い、職員間での連携を図りながら、園全体で子どもを見守る体制づくりを行っています。

保護者対応については、日々の会話を大切にして、子どもの成長とともに楽しみながら、信頼関係を築くことを心がけています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月25日 (契約日) ~ 2022年11月17日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	0 回 ( 年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆子どもが安心して過ごせる環境を整備して、保育の実践につなげています

園では、日々の朝ミーティングや乳児会議、幼児会議などで、クラスの様子や子ども一人ひとりの状況を報告し合っています。職員は、担当以外の子ども の状況も把握して、全職員が同じ対応を行えるようにしています。各保育室は、ゆったりと子どもがくつろげるスペースが確保され、自分でやりたいことや好きな遊びを見つけられるよう、環境を整えています。事務室には、落ち着いて遊べるおもちゃコーナーを設定し、子どもが気持ちを切り替えることができるようにしています。子どもが安心してありのままの自分の気持ちを表現できるよう、家庭的な雰囲気を大切にして、職員全体で、すべての子どもを見守りながら、保育の実践につなげています。

◆さらなる保育の質の向上を目ざして、取り組みを進めています

園では、毎月、クラスごとに保育のねらいを設定し、子どもたちの主体性がはぐくまれるよう、年齢に応じたさまざまな活動を組み入れています。食育活動や木育活動、製作活動のほか、身体を使った遊び、数字や文字に親しむワーク、異年齢での活動など、活動内容の充実を図りながら、子どもたちが豊かな経験を積み重ねられるようにしています。子どもたちの成長の様子は、ドキュメンテーションとして、写真とコメントで記録を継続しており、保育実践の振り返りに活用し、職員間で課題点の共有化を図って、より良い環境構成や子どもへの対応方法について話し合うなど、さらなる保育の質の向上と保育内容の充実を目ざして取り組みを進めています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審し、様々な課題が見えてきました。また、その課題と感じていることに対し、的確にアドバイスをいただくことができました。

保護者の皆様には、アンケートにご協力いただきありがとうございました。温かいメッセージを頂き励みになりました。これからも、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様にとって安心してすごせるよう職員一同協力していきます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり